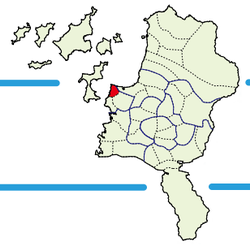
高浜地区（たかはま）

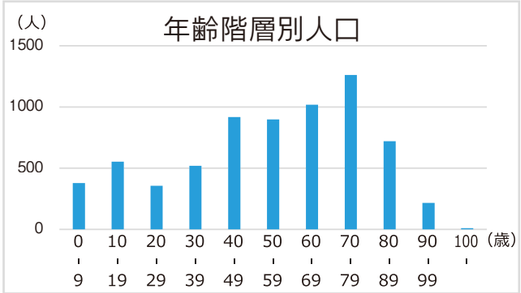
人　口：6,883人（高齢化率40.6%）
世帯数：3,516世帯



【地区の特色】

松山市の北に位置する高浜地区は、緑濃い山を背景に目の前には穏やかで美しい瀬戸の海を望む自然豊かな地区である。松山の海の玄関としての役割を持ち、文化財にも恵まれている。また、高浜は帯状に長く、北から南まで5kmほどある。以前は農業と漁業のまちであったが、市内中心部にほど近いこともあり、最近は会社勤めの人が多くなってきている。

伊予鉄道梅津寺駅



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	・高齢者、子どもたちへの挨拶や声かけがとても良くできている ・地域行事への参加が多い（特に祭り好き） ・近隣住民の支援体制ができている　・隣近所の情報がよく分かっている ・タクシーを乗り合わせて買い物に行く近所づきあいがある ・U ターンして住む人や移住してくる若い世代（松ノ木・石風呂）もおり、住みやすく人気の地区である　・防災意識が高い（災害があったので） ・地区内に別荘地がある　・災害時の要援護者の把握ができている ・高浜地区の各種団体の連携がとれている ・食べ物（特に野菜）がおいしい　・移動スーパーが増えた
地区の弱み	・敬老会などへの参加者が少ない ・分館、集会所に駐車場がなく、行事への参加がしにくい ・スーパー、病院が少ない ・漁師の跡継ぎが少ない ・ループバスが通っているがバス停が少ないため、駅から離れた地域は交通手段に困る ・公民館の立地場所 ・幼稚園が無くなり小中学生の減少、更に子ども会に未加入が増え祭りができなくなった
地域が抱える福祉課題	・南北に長いので生活状態が異なる ・地区内にスーパーがないため、買い物に不便 ・総合病院が遠いので不便 ・交通手段がないため、タクシーの利用頻度が高い（病院、買い物など）

高浜地区社会福祉協議会

海の高浜　福祉はひとつ

構成団体	地区民協・公民館・町内会連合会・まちづくり協議会・高齢クラブ連合会・保護司会 自主防災連合会交通安全協会高浜支部・警察協助員高浜支部 青少年健全育成連絡協議会・おやじの会・PTA・ノラねこ対策隊

主な取り組み	活動内容
3地区合同施設訪問	毎年、宮前・三津浜・高浜地区が合同で、地区外の福祉施設に入所された地元出身の方々を訪問・激励しています。
福祉学習事業への支援	毎年、小・中学生とその親を対象とした地引網や学校へ泊ろう大作戦、親子スポーツデーに助成し、活動を支援しています。
資源ごみの回収	プルタブ・ベルマーク・ペットボトルのフタを公民館で集めて小学校へ届けることで、小学校活動に協力しています。

友愛訪問　（毎年3月1日）

福祉学習事業の一環として、高浜中学校の一年生と民生委員・児童委員が高齢者施設を訪問し、ゲームや話をするなど交流を深める活動をしています。また、中学一年生が独居高齢者の皆さん全員へ手紙を書き、民生委員・児童委員が、それを自宅へ届ける活動をしています。

＜地区社協が目指すもの＞

高浜地区は、松山観光港がある松山市の海の玄関口であり、また、夏目漱石の小説「坊っちゃん」に出てくる四十島（ターナー島）のある魅力あふれる地区です。最近では少子高齢化が進み、安心して住みよい高浜地区を目指すには、引続き基盤整備を行う必要があります。高浜地区社協・民協・公民館・町内会連合会の諸団体と令和元年度に発足した「まちづくり協議会」との連携強化により、この5年間で高浜地区の活性化が少し前進してきました。今後もこれを継続して誰もが住みやすい地域を目指していきます。また、海の玄関口である地域として、観光客にもいい印象をもってもらえる地域でありたいと思っています。

地区の状況				
	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	16団体
	民生委員	16名	■高齢クラブ	5クラブ
	主任児童委員	2名	■子ども会	1団体
	■まち協の設立	令和元年度	■自主防災組織	16組織

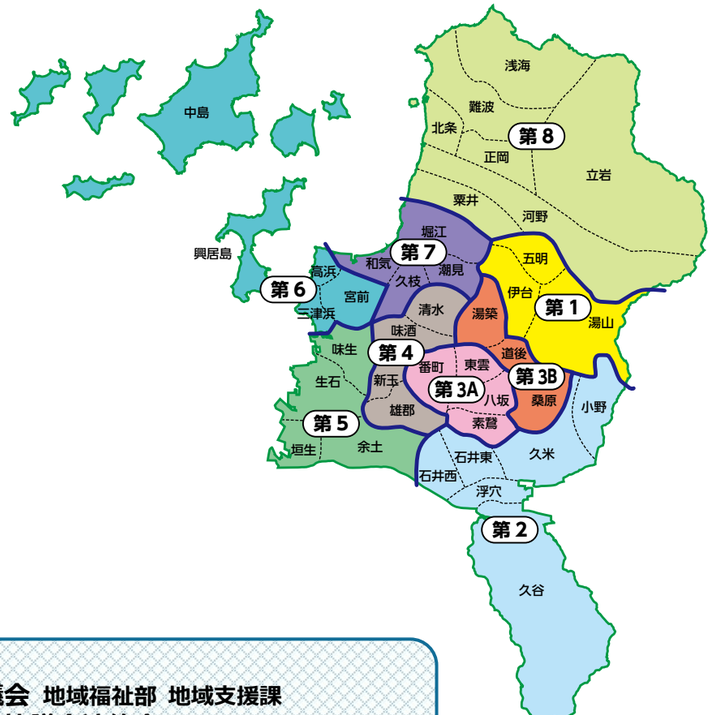
もともと防災意識が高かった地区ですが、防災力ひいては地域力が強化されています。平成30年7月豪雨では、住民が声かけしあい、早期の避難を実現、多数の土砂崩れにも関わらず、人命をまもることができました。この経験を教訓に、地区社協・民協と自主防災組織等の連携作りが行われています。一般的に災害では高齢者や障がいのある人の被災率が高いことから、この地区の取り組みは、全国のモデルとなります。子育て世代の応援体制が作られているのも特徴で、小中学生や親子向けの楽しい地域イベントへの支援を行っています。地区社協によるこのような取り組みや小学校活動への協力は、若い世代が地域に愛着をもつきっかけになっていると考えられます。

地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々の自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第１	五明地区
	伊台地区
	湯山地区
第２	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
	久谷地区
第３A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区
第３B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区
第４	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区
第５	余土地区
	垣生地区
	生石地区
	味生地区
第６	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区
第７	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区
第８	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区



発行日　令和６年４月
発　行　**松山市社会福祉協議会　地域福祉部　地域支援課**
松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
〒790-0808　松山市若草町８番地２
TEL　089-941-3828 / FAX　089-941-4408
Webアドレス　https://www.matsuyama-wel.jp/
作　成　**地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会**

＜『地域カルテ』の見方＞

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

①地区の概要

・人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和５年４月１日現在のデータを記載しています。
・地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

・令和５年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	令和５年４月１日現在の定数
■まち協の設立	令和５年９月１日現在の設置状況
■町内会等	令和５年度町内会等状況調査（基準日：令和５年６月１日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和５年７月１日現在）
■子ども会	令和５年度松山市子ども会連合会加入数（令和５年５月１日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和５年４月１日現在）

⑤地域福祉推進のポイント

・聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏